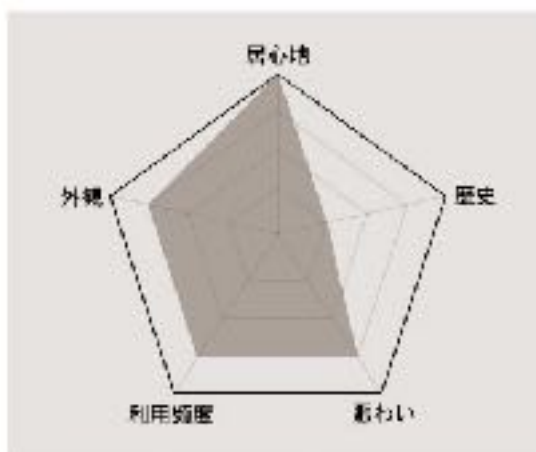


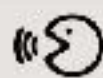
# 東ヶ崎潔記念ダイアログハウス 大学食堂 Dining Hall



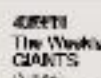
▶2010年に完成。カウンセリングセンターや就職相談グループもこの中にある。一人席も用意されているため、一人になりたい気分のおきも安心。現在は感染防止対策のため、テイクアウト表示のみを実施。



文理両方



賑やか



2023 The Weekly GIANTS  
2023.04.04



絶賛配置中!

あれから一年、コロナの猛威がこの食堂を襲った。多くの席が閉鎖され、アクリル板の設置により、ほんの些細な笑い声ですら遮断されるようになった。食堂のみの営業となり、以前のような前気はへわれってしまったかのように見えた。しかし聞かなくてくるのは、あの口と変わらないお馴染みの会話を。「やっぱり、美味しくなかった。何かを噛みしめるように出たその言葉に、学生は「そうだな」とアクリル板越しに頷いていた。その光景には、ガツキという空間が多くの学生に愛され続ける理由が認められているように気がして、何だか少し温かい気持ちになった。

通称は「ガツキ」  
ICU生の憩いの場



それらの食感メニューを奥しめる機会が無くならないが、またこのように料理を安心して楽しむ日常が戻ってくることを乞い。

ガツキでは、人気のカレーはもちろんだ、口当たりの丼ものや、肉・白料理、さらにはビーガン向けメニューなど、様々なパリエーションの食事を提供している。唯一の問題は「美床」がない。この不評なことだ。しかし多くの学生は、ガツキが本気を出せば高級レストランのような絶品メニューを提供できるという事実を知らない。写真に、クリスマス時期に開催される午餐会という教職員向けのイベントで提供された料理の一例だ。この他にも、キャリリング対決のときには、メニューにステーキが追加されたりもする。税金ながら坑産はコロナによる影響で、

本気を出して  
いないだけ?



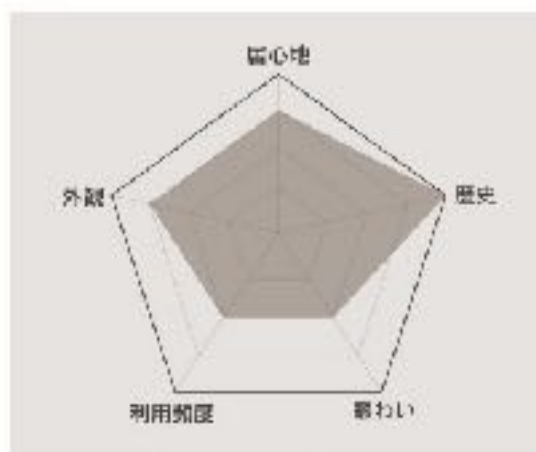
# 国際基督教大学教会

# 大学礼拝堂

University Chapel



▶1964年に完成。二階建てとなっており、二階から眺める礼拝堂全体の景色はまさに壮麗。入口の上にある大きな十字架は夜になると美しくライトアップされる。近年はその荘厳さから、大学のインスタ映えスポットの一つに。



の感性に  
たたる樹  
ける圧を  
の光景が  
広がる我  
が大学日  
毎のブヤ  
ベルだ。



大学の玄関通廊マククリン通りは、春には桜、秋には紅葉と四季折々、様々な表情をみせる生木道である。その通りを真っ直ぐ抜けた先に、この教会はそびえ立つ。教職員や在学生などが集うヨウザン礼拝はもちろん、毎週水曜日には学生5月の礼拝であるチャペルソングが聞かれる。学生や教職員による他では聞けない貴重な話を聞くことができ、入学式、卒業式といった式典もここで開かれるほか、その音響の良さから、音楽系サークルによるコンサートも開かれる。その歴史と伝統が醸し出すレトロ感、キリスト教の息吹が息づく荘厳さ、大財の真摯な賛賞、どこを切り取ってもとにかくエモい。

溢れ出る「エモさ」  
ICUの「コアを訪ねる」



礼拝堂の奥向、中央部には3天パイプオルガンが設置されている。このオルガンはオーブストリア製で、そのさき王は、胸の奥にまで響く和太鼓の振動と同様に強い。クリスマスやキャンパスのイベントの際には、参加者全員に響かされているはずのキャンパスの音が、その運動により次々と揺らめき、湧きあがり、さうになる。しかし、凄まじい音圧とは対立的に、その音色は演奏者の細かい指使いが全て伝わってくるかのようには、繊細で柔らかい。まるで天使のさうなその音色を耳くために、教会に響き始める音とも存在するといふ。ちなみに「ICU」では、オルガン音楽入玉」といって演奏者が存在し、ここでは、パイプオルガンの演奏の仕方を家産の演奏家から教えてもらっているという。

天使の音色  
が響く場所

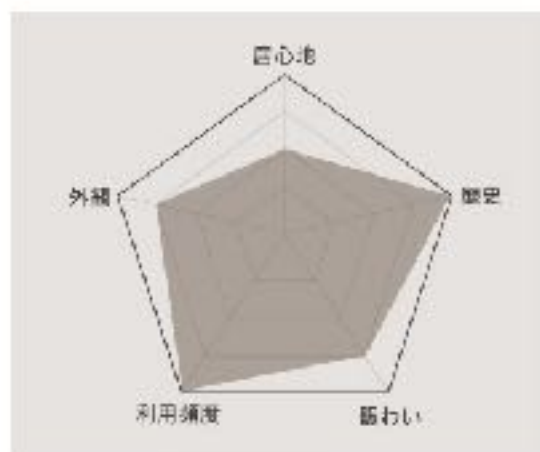


# 旧中島飛行機三鷹研究所

# 大学本館 University Hall



▶1973年に完成。ICUの授業の大半はこの本館で行われる。一時期は建て替えの議論が持ち上がったこともあったが、建物自体の歴史的価値などが考慮され、地味は行われなかった。ICUの歴史と進歩を垣間見ることができる施設だ。



又理両方



朝やが



収録機 The Weekly GRANTS  
撮影配置中!

本館は、緑溢れるICUの自然に囲まれたモノカラーな建物で、口の前には「あけし」のぼかローと呼ばれるICUの三日月のくつろぎスポットがある。外装はかなり真摯な雰囲気を醸し出している。実際に足を踏み入れてみると、驚きはなく、とても寛大な内装である。一年生の私にとって、最上階の音楽室など、足を運んだことのない部屋もあるが、おそろしく大きな音が多種多様な音が立ち上り、一体化な大学施設である。因みに本館にある一人用トイレは悪臭の強い程、使い勝手が悪い。それ以外は利用する上で特に目立つ点もない本館だが、オンライン開講の授業が大半を占める今ICUでは一番落ち着く、アットホームな安心感を与えてくれる場所だ。本館の良い点は全ての階にラウンジがあり、パンやコーヒーを気軽に買える施設が整っていることだ。しかし、コピーはジョージアから、向に要わないため、その点は議論の余地があるだろう。

## 自然豊かな 学びの拠点



オールジェンダー、トイレは本館の二階から二階に設置されている、誰でも使用できるトイレである。2020年の6月に開設されて以降、多くの生徒に利用されている。また、ジェンダーウィークの期を始めたところ、開設されてから、オールジェンダートイレにまつわる様々な点からの議論がICU内で行われるようになった。授業、性別にかかわらず誰でも使用できるため、トイレ内で異性とから合気さすい体験などが寄せられたこともある。しかし、本館施設にはオールジェンダートイレの他にも、男女で分かれているトイレも併設されているため、中にはそれすら不便に感じることもあるという声も聞かれます。そこで、より身近なジェンダーについて、学級と議論の場を設け、たことには併せてある。

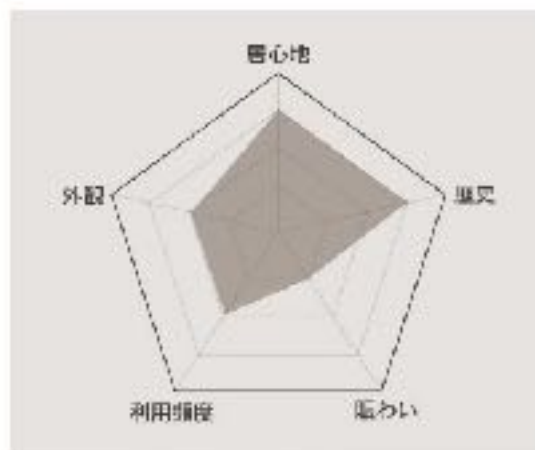
## オールジェンダー トイレって?



# ICU自然科学研究の本拠地 理学館 Science Hall



▶1967年に完成。ICUで数少ない理系ホワイエスポット。しかし実は、2022年度に建設予定の新館に理学館の機能が移転されることが正式に決まっており、自然科学研究の拠点としての姿を捨てるのはあと少し。



 理系向け	 静か	 配置ナシ…
---	---	--

何となく、文系寄りの大学に捉えられることが多い。確かに、理系メジャーを主張する学生数は、文系メジャーの学生数に比べると圧倒的に少ない。だが、文理融合のりべつルーツカレッジである以上、理系の研究を抜きにして、「理科」は語れない。この理学館（旧理系館）は設立以来、自然科学研究の拠点として大学を又え続けてきた。複数の実験室やコンピュータ実習室を有し、館大では数多くの実験や実習が繰り返された。また、ズボンホールは室内でも最も容人数の多い教室（約800人収容可）であり、コロナ禍以前は、「E.V.V.」の複数のクマラスが集まって行われるコースワイドテストの会場としても利用されていた。今後、理系の研究拠点としての機能は新館に移り、そこには「館ホ」ルを組める（3人規模の人数も設置される。理系館も改修、昇を経た後は、多目的設備として生まれ変わる予定で、「E.V.V.」の大半施設の歴史は、人きかな転換期を迎えている。

何となく、文系寄りの大学に捉えられることが多い。確かに、理系メジャーを主張する学生数は、文系メジャーの学生数に比べると圧倒的に少ない。だが、文理融合のりべつルーツカレッジである以上、理系の研究を抜きにして、「理科」は語れない。この理学館（旧理系館）は設立以来、自然科学研究の拠点として大学を又え続けてきた。複数の実験室やコンピュータ実習室を有し、館大では数多くの実験や実習が繰り返された。また、ズボンホールは室内でも最も容人数の多い教室（約800人収容可）であり、コロナ禍以前は、「E.V.V.」の複数のクマラスが集まって行われるコースワイドテストの会場としても利用されていた。今後、理系の研究拠点としての機能は新館に移り、そこには「館ホ」ルを組める（3人規模の人数も設置される。理系館も改修、昇を経た後は、多目的設備として生まれ変わる予定で、「E.V.V.」の大半施設の歴史は、人きかな転換期を迎えている。

何となく、文系寄りの大学に捉えられることが多い。確かに、理系メジャーを主張する学生数は、文系メジャーの学生数に比べると圧倒的に少ない。だが、文理融合のりべつルーツカレッジである以上、理系の研究を抜きにして、「理科」は語れない。この理学館（旧理系館）は設立以来、自然科学研究の拠点として大学を又え続けてきた。複数の実験室やコンピュータ実習室を有し、館大では数多くの実験や実習が繰り返された。また、ズボンホールは室内でも最も容人数の多い教室（約800人収容可）であり、コロナ禍以前は、「E.V.V.」の複数のクマラスが集まって行われるコースワイドテストの会場としても利用されていた。今後、理系の研究拠点としての機能は新館に移り、そこには「館ホ」ルを組める（3人規模の人数も設置される。理系館も改修、昇を経た後は、多目的設備として生まれ変わる予定で、「E.V.V.」の大半施設の歴史は、人きかな転換期を迎えている。

**文系イメージを覆せ  
理学館と新館の今後**

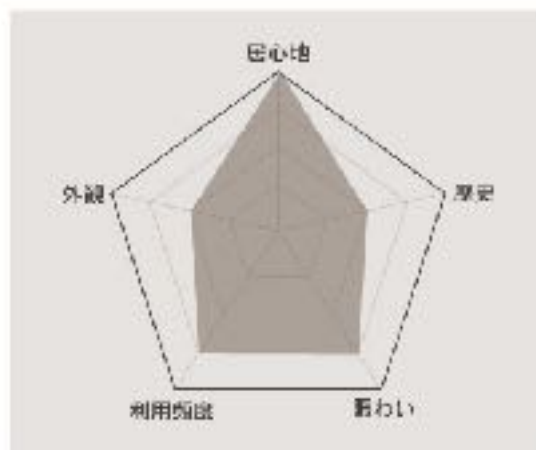


本館を抜けた先にある理系館。しかし、理系向けの施設というところであって、学生たちが一向に集まる本館と違い、理系館の利用者数はそこまで多くない。だがその分、静かで落ち着いた環境である上に、休憩用のイスやテーブルも備え付けられているため、一部の学生からはその居心地の良さを絶賛されている。また、写真のようなオゾンエアーが壁に飾られているなど、居場所の雰囲気にも遊び心を添えられ、学内の隠れた名所として愛されている。廃念ながら改修によって、今ある理学館の姿が変わってしまうが、今後どのような施設に生まれ変わるのか注目だ。

**知る人ぞ知る？  
意外な居心地の良さ**

# Othmer Library

## オスマー図書館



▶オスマー図書館は2000年に開設。それ以来、日本全国の充実度を誇る大学図書館に、2021年の春には、カフェスペースが新設されるなど、今でも進化を続けている。卒業生に誇りを抱かせる4年生たちの学びかたとしても知られる。



だ。三連威多覚える程



「大学ランキングが『2021年度版』で、学生への貸し出し量の多さなどから、全国2位にランクインした『2021図書館』蔵書の総数はなんと20万冊。ICUに入学すると、勉強生活において図書館は欠かせない存在となり、本や参考書でカバンを一杯にした友人を見かけることもしばしばだ。図書館に入ることも、文芸門のずらりとしたジャンルの新書や、最近の新聞、言語学習用の辞書が並んでいる。静かな空間ではあるものの、張り詰めるような緊張感を感じないのは、生徒と一緒に本を換えてくることが、懐かしい図書館司教諭の戸が時々聞こえるからだろう。二階は一階よりも細かく学習机の本が並べられてあり本棚で幅が狭くなつた通路を歩くと、三連威多覚える程

### 全国有数の大学図書館へようこそ



「ICUの図書館は本館とオスマー館と呼ばれる二つの構成されている。本館には前身のICUに多くの本が並んでいる一方、オスマー館には学習・教育センターがあり、勉強支援が充実している。

最初にライティングサポートデスクでは、エッセイの指導をしてもらうことができる。学生一人につき一人のICUの大学院生のチューターが担当となり、チューターの基本的な構成の相談から英文法の添削までしてくれる。学生は自分のエッセイのテーマを確認して、いそうなチューターを選ぶことができるのも魅力だ。アカアミックスプログラムだ。アカアミックスプログラムでは、学生が自身の職務計画について相談することができる。専攻を二年度で決めるICUの生にとって心強い存在だ。

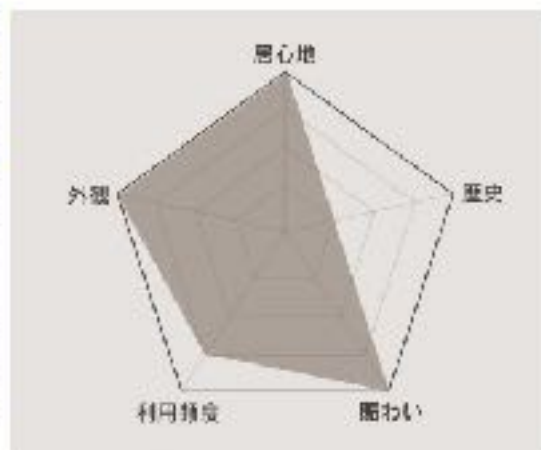
### 文献だけじゃない 充実した学修支援

Physical Education Center/  
Central Locker Building

体育施設・セントラルロッカー



▶写真の新体育館は2018年に完成。デザインは新国立競技場の設計を担当した隈研吾氏が監修した。その他にも格闘技室やトレーニング室、旧体育館、研究室を有するセントラルロッカー棟など、様々な体育施設がある。



文理両方	賑やか	設備ナシ…
------	-----	-------



列で利用でき、広いコート、ダンスフロアも完備しており、学生の練習にも役立っている。

教会や本館へと続くマクリーオン通り沿いにそびえ立つ新体育館。木材をふんだんに採用し、自然の温もりを十分に感じられる設計となっている。土に全学生必修のエクササイズ授業で授業に活用するほか、一階にはソファやテニスボールなどが備え付けられているため、学生のくつろぎスペースとしても重宝されている。メインコートは天井がアーチ状になっており、写真を見れば、広く開放感があるのが特徴だ。旧体育館については授業での利用機会はないが、ジムと呼ばれる球技場や格闘技室、さらにはボクシングジムなどもあり、主に体育会系サークルの活動場所として利用されている。また、学生であれば無料で利用できる、広いコート、ダンスフロアも完備しており、学生の練習にも役立っている。

人と環境に優しい森の中の体育施設

その他にもアーチコート、ダンスフロアなど、多くの体育施設が存在しており、その充実具合は、このより規模の大きい他大とも全くもって引けを取らない。



また、旧体育館のボルダリングジムは、エクササイズ内でクワイミングの授業を受けるか、講習会を受講することにより利用が可能となる。

その他にもアーチコート、ダンスフロアなど、多くの体育施設が存在しており、その充実具合は、このより規模の大きい他大とも全くもって引けを取らない。

実は他にも！  
体育施設自慢

